

◆授業設計のポイント◆

- ・ 実生活と関連付けた場を設定した授業の工夫
- ・ 自分の価値意識をもって他者と考えを交流し、互いに学び合う学習活動の工夫

## 美術科学習指導案

学 級 1年1組(男子18名・女子19名 計37名)

場 所 第1美術室(3年校舎3階)

指導者 教 諭 岩 崎 美 紀

### 1 題材デザイン

題 材 名 「伝われ！私のシンボルマーク」

### 2 題材について

シンボルマークとは個人や団体の内容や考え方を整理し、象徴的に表すマークのことである。大型スーパーやコンビニのマーク、日本の家紋などもシンボルマークの一つであり、中学生が日常生活の中でよく目にするデザインである。シンボルマークを作るには、伝えたい内容を象徴的に表すために、見る人が受ける印象を考慮し、形や色を整理していきながら単純化しつつ、視覚的効果を考えて表現する造形的な力を必要とする。中学生がこの課題に取り組むことによって、視覚効果や他者に伝える表現を学んだり、他者の作品と交流したりすることで、作者の表現意図や工夫されたものに気づき、ビジュアルコミュニケーション能力を高めることができる。そこから視野を広げることにつながり、日常生活の中に美術を感じるようになる。

本学級の生徒は、入学当初から日常生活に美術が生きていること、また、将来役に立つと考えており、美術の授業では興味をもってのぞんでいる。自分の作品について考えやこだわりをもっており、他人の意見に左右されないようであるが、自分の作品を大勢の前で発表することには苦手意識をもっている。

本題材では、生徒の所属する専門班と自分の特性を組み合わせるマークを作る。指導にあたっては、導入でさまざまな参考作品を鑑賞させ、色や形からシンボルマークに込められた意味を考えさせる。まず自分の専門班を表す共通マークを決定させ、その後、自分自身の個性や特徴について、自分でじっくり考えさせる時間を設定する。目的や条件ごとにプレゼンディスカッションを行い、他者からの評価を受けていく。このような活動を行うことで、生徒のプレゼン能力を育成するとともに、シンボルマークの伝えたい内容、他者が受ける印象などを考え、形や色彩の効果を生かして造形的な美しさなどを総合的に考える力を養い、これからの社会に必要な生きる力の育成につなげたいと考える。また、美術と生活との関連に気づかせ、実践力を身につけさせたい。

### 3 題材の目標

- (1) シンボルマークに関心を持ち、目的意識をもって主体的に話し合いや表現活動、鑑賞活動を行うことができる。
- (2) 自分の個性や特徴を見つめ直し、形や色彩などの効果を生かして表現の構想を練ることができる。
- (3) 画材の特性を生かし、自分の意図に合う表現を工夫しながら、創造的に表現することができる。
- (4) 普段目にするシンボルマークや他の生徒の作品を鑑賞し、作者の意図や表現の工夫、シンボルマークの調和のとれた美しさなどを自分の価値意識をもって味わうことができる。


#### 4 題材の指導計画（本時 5 / 9）

1 題材の把握と鑑賞 (1時間)	<p>「自分の専門班について理解しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シンボルマークについて学ぶ。</li> <li>・ 題材を把握する。</li> <li>・ 専門班の共通マークを考える。</li> <li>・ 共通マークを全体会議で練り上げる。</li> </ul>
2 目的や条件を考える場面 (6時間) (本時 4 / 6)	<p>「自分を分析し、友だちから意見をもらおう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分を分析し、マッピングする。</li> <li>・ 全体会議で自分について意見をもらう。</li> </ul>
	<p>「効果的なイラストパーツを考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シンボルマークに必要なイラストのパーツを考える。</li> </ul>
	<p>「効果的な組み合わせを考えようⅠ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時に考えたイラストのパーツを組み合わせてシンボルマークを考える。</li> </ul>
	<p>「効果的な組み合わせを考えようⅡ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シンボルマークをプレゼンディスカッションで練り上げる。(本時)</li> </ul>
	<p>「効果的な配色を考えようⅠ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達から色の分析をしてもらう。</li> <li>・ 自分を表す効果的な配色を考える。</li> </ul>
	<p>「効果的な配色を考えようⅡ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配色についてプレゼンディスカッションで練り上げる。</li> </ul>
3 制作 (1時間)	<p>「シンボルマークを制作しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本番用紙にこれまでの授業で構築してきたシンボルマークを制作する。</li> </ul>
4 鑑賞 (1時間)	<p>「自分のシンボルマークをプレゼンしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体の前で1人30秒、作品のプレゼンをする。</li> </ul>

#### 5 題材における評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<p><b>表現</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、自分のシンボルマークのデザインに関心を持ち、創意工夫して表現しようとしている。</p> <p><b>鑑賞</b></p> <p>シンボルマークの造形の美しさ、作者の個性や特徴、表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。</p>	<p>感性や想像力を働かせて、文字の形や自分自身の個性や特徴をもとに美しさなどを考え表現の構想を練っている。</p>	<p>感性や造形感覚などを働かせて、色や形の表し方を身に付け、意図に応じて定規や絵の具などの使い方を考え、創意工夫して表現している。</p>	<p>感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げることができる。</p>

## 6 到達目標問題

到達目標問題	 <p>左は鹿児島県のシンボルマークです。どのようなことを表現していると思いますか。その根拠を色や形などから箇条書きで説明しなさい。</p>
解答	鹿児島県の自然と躍動的な感じを表現している。
根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青色が海や空をイメージさせる。</li> <li>・曲線が風や波をイメージさせ、躍動感を感じる。</li> <li>・鹿児島県のKを使っている。</li> </ul>

## 7 本時の実際（本時5／9）

### (1) 本時の目標

- ア 目的意識をもって、意欲的にグループで意見を交流し、効果的なレイアウトに生かすことができる。
- イ 他者の意見を参考にしつつも、自分の価値意識をもってレイアウトの構想を練ることができる。

### (2) 授業設計の工夫

#### ア 実生活と関連付けた場面を設定した授業の工夫

実社会と関連付けた場面を設定するために、題材を貫く学習目標を通して、効果的な（見る人の立場に立った、わかりやすい）、効果的なレイアウトを構想する場面を設定する。

【研究の視点1】以下 → 【視点1】

#### イ 自分の価値意識をもって他者と考えを交流し、互いに学び合う学習活動の工夫

自分の価値意識を構築するために個でじっくり練り上げさせ、その後、他者と考えを交流し、互いに学び合う活動としてプレゼンディスカッションを行う。

【研究の視点2】以下 → 【視点2】

### (3) 展開

過程	時間 形態	主な学習活動	○指導上の留意点 ◎評価 ※授業設計の工夫
導   入	10分 一斉	1 前回の授業を振り返り、本時の学習を確認する。	○ アイデアマップで活動の流れを確認し、本時の活動を確認させる。 ※ 学習目標と同時に題材を貫く学習目標を提示する。 ※ 効果的なレイアウトを考える場面を設定する。 <span style="float: right;">【視点1】</span>
	〈題材を貫く学習目標〉 見る人の記憶に残る、自分の個性を表す私のシンボルマークをつくろう		
	〈学習目標〉 効果的なレイアウトを考えようⅡ		

展 開	3分 個	2 前時に分析した会社やコンビニのシンボルマークの特徴を確認する。	○ 特徴を発表させることで、これから話し合うレイアウトのポイントに気付かせる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【制作の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字が理解できるか</li> <li>・イメージ図が理解できるか</li> <li>・マークの形になっているか</li> </ul> </div>
	18分 グループ	3 全体企画会議を行う。	○ 全体企画会議を円滑に行わせる。 ・ 各自でシンボルマークについての意見交換を行わせる。
	12分 個	4 シンボルマークのレイアウトを再度練る。	※ 全体企画会議を行う。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">視点2</span> ◎ 意欲的に話し合いに参加している。 ○ 全体企画会議で出た意見を参考に、シンボルマークのレイアウトを再度練らす。 ・ 自分の価値意識や思いも大切にしよう声かけをする。 ◎ 他者の意見を参考にしつつも、自分の価値意識をもって再度レイアウトの構想を練っている。
終 末	4分 一斉	5 代表者がレイアウトを発表する。	○ 全体企画会議で出た意見を参考に、シンボルマークのレイアウトを再度練らす。 ・ 自分の価値意識や思いも大切にしよう声かけをする。 ◎ 他者の意見を参考にしつつも、自分の価値意識をもって再度レイアウトの構想を練っている。 ○ 教師が机間巡視でレイアウトがよりよく変化した生徒を数名選び、代表で発表させる。 ・ 書画カメラを使用する。
	3分 個 一斉	6 本時の感想、気付いた点や新しい発見などを記入する。 7 次回の説明を聞く。	○ 本時の感想をアイデアマップに記入させる。  ○ 次回の説明をする。